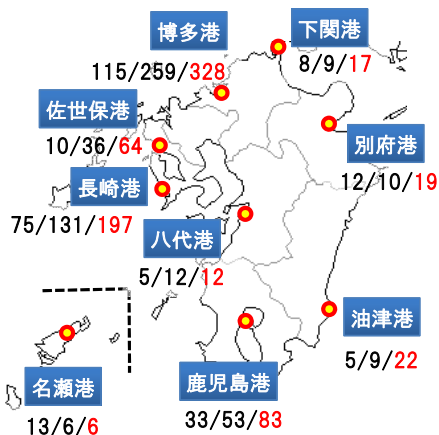


■九州管内におけるクルーズ船の動向について（速報値）

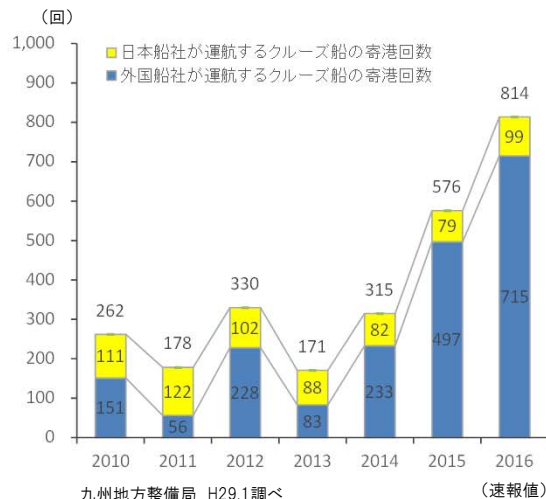
2016年（平成28年）の九州管内におけるクルーズ船寄港回数は、外国船社が運航するクルーズ船の寄港が増加し、これまでの過去最高であった2015年（平成27年）の576回を大幅に上回る814回となり、その内訳は外国船社が運航するクルーズ船の寄港回数が715回、日本船社が運航するクルーズ船の寄港回数が99回となりました。

主なクルーズ船（外国船社・日本船社）の寄港地



凡例：寄港回数（2014/2015/2016速報値）

九州管内へのクルーズ船の寄港回数



■クルーズ船寄港地の賑わい

～地元特産品の販売で寄港地の魅力発信！～



クルーズ船寄港時に催される物産展

～地域一体となった催しで寄港地の魅力発信！～



市民とクルーズ乗船客が参加した盆踊り大会

大型クルーズ船の寄港による経済波及効果は一寄港あたり数億円とも試算される中で、クルーズ振興を通じて、観光立国の実現、雇用と所得の創出に資するため、九州地方整備局では外国クルーズ船の寄港増や大型化に対応するハード・ソフト面での受入環境の改善に取り組んで参ります。

【この資料のお問い合わせ】

福岡県福岡市博多区博多駅東2-10-7 国土交通省 九州地方整備局
港湾空港部 港湾物流企画室 TEL:092-418-3379

Vol.3<H29.3.31>



Front Line 国土交通省 九州地方整備局

「めざせ！観光先進国」

訪日クルーズ500万人時代に向けて

～クルーズ振興への取り組み～



クワンタム・オブ・ザ・シーズ
(167,800トン・乗客定員4,180人)
ロイヤル・カリビアン・インターナショナル(米)

八代港(熊本県)

2016年4月に発生した「熊本地震」後に熊本県内の港へ寄港した大型クルーズ船は、『復興』の象徴としての役割を担いました。



オプションツアーへ向かうクルーズ客



クルーズ客に観光案内を行うボランティア



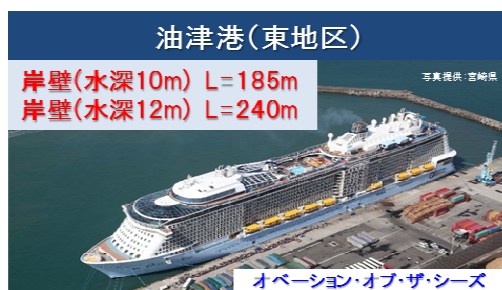
出港に向け大勢のクルーズ客で混雑するターミナル内

クルーズ船は、寄港地を中心に一度に多くの観光客が訪れ、グルメ、ショッピングなど地域での消費が生まれるとともに、外国人観光客との交流が進展するなど、地方創生に大きく寄与します。九州地方整備局では、2016年3月30日に策定された「明日の日本を支える観光ビジョン」に掲げられた目標である「訪日クルーズ旅客を2020年に500万人」の実現に向け、これからも魅力あるクルーズ振興に取り組んで参ります。

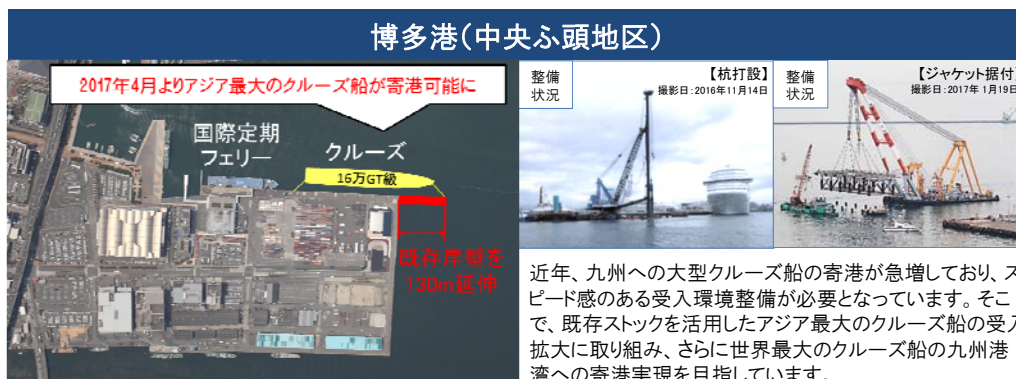
九州地方整備局では、我が国の観光の玄関口となる港湾施設において、大型クルーズ船への対応など、港湾管理者と連携して、ハード・ソフト面からの受入環境の改善を図っています。

■クルーズ船受入環境の整備

【クルーズ船の主要な受入可能施設】



【既存ストックを活用した大型クルーズ船の受入環境整備】

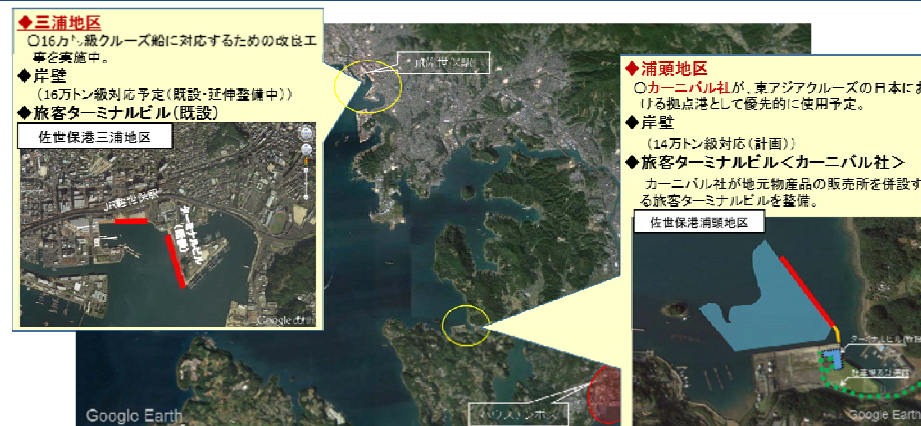


【官民連携による国際クルーズ拠点形成港湾 ～佐世保港・八代港～】

国土交通省港湾局では、学識経験者等で構成される「官民連携によるクルーズ拠点形成検討委員会」を開催し、官民連携により国際クルーズ拠点を形成するため、旅客施設等への投資を行うクルーズ船社に岸壁の優先使用などを認める新たな仕組みづくりを推進しています。

2017年1月、港湾局は、九州の佐世保港(長崎県)、八代港(熊本県)を含む6港湾を「官民連携による国際クルーズ拠点」を形成する港湾として選定しました。今後、港湾局、港湾管理者、クルーズ船社等の関係者は、それぞれ、必要なハード・ソフト両面の取組を進めていきます。

佐世保港(三浦地区)



※カーニバル社(カーニバル・コーポレーション&plc)
世界やアジアで半分のシェアを持つクルーズ会社グループ。傘下に、コスタ・クルーズ社、プリンセス・クルーズ社などクルーズ・ブランドを有している。

八代港(外港地区)



※RCL社(ロイヤル・カリビアン・クルーズ)
オアシス・オブ・ザ・シーズなど世界最大のクルーズ船を有するクルーズ会社。